

令和 5 年度決算等を踏まえた今後の事業の方向性について

令和 6 年度第 1 回京都市上下水道事業経営審議委員会の議題「上下水道事業におけるこれまでの取組と今後の方向性について」にて、経営環境やこれまでの取組、求められる役割や課題等を踏まえ、様々な御意見等をいただき、それらを踏まえ、政策・施策の点検結果を以下のとおり公表しました。

1 今後の方向性（政策・施策の点検結果から抜粋）

(1) 安心安全な上下水道の構築と水環境の保全等に配慮した取組の推進

- 水道管路については、災害時等に広範囲に影響を及ぼす口径の大きい配水管の更新割合を増加させるなど、これまで以上に優先度を考慮して更新を進めるとともに、耐震性の劣る初期ダクタイル鋳鉄管の令和 14 年度末までの解消を目指す。
- 下水道管路については、老朽化した管路や重要な管路の中でも特に破損リスクが高い旧規格の管路を対象に、計画的な調査及び改築更新・耐震化を推進する。

(2) 雨に強いまちづくりや水と共に生きるまちづくりの推進

- 近年の頻発化、激甚化している災害に備えるため、引き続き、国、京都府等と連携を図り、河川や雨水幹線等の着実な整備を進めるとともに、「流域治水」の考えの下、各局区が連携した「雨に強いまちづくり」を引き続き推進する。

(3) 上下水道事業に対する満足度の向上や経営基盤の強化・安定

- 今後、老朽化した水道・下水道管路が増加していくことを踏まえ、令和 4 年度に上下水道局に設置した「施設マネジメント推進プロジェクトチーム」で、将来の適正な事業規模を把握し、事業費の平準化に向けた検討を行うとともに、世代間の負担の公平性等を考慮した、企業債に過度に依存しない健全な事業運営を行う。
- 厳しい経営環境においても、将来にわたって安全・安心な上下水道を維持するため、効率的・効果的な事業運営を行いながら、技術の継承とともに、デジタル技術の活用や広域化・広域連携に係る検討など長期的な視点での取組を進め、経営基盤の強化を図る。

2 御意見等をいただくポイント

令和 5 年度決算の収支では、積立金はプランの想定以上に確保できたものの、その要因は電気料金単価が想定を下回ったことなど外的な要因によるところが大きく、今後の経営環境は水需要の減少や管路・施設の老朽化に加え、物価や金利の上昇など、一段と厳しさが増すと見込まれる。

1 で示した今後の方向性を中心に、また、それ以外の部分も含めて、今後の持続可能な事業運営を行うための参考とさせていただくため、中長期的な観点から御意見等をいただきたい。